

議案第 21 号 平成 22 年度深谷市一般会計予算に対する
附帯決議

平成 22 年度一般会計当初予算は、骨格予算であり通年予算の全体像や個々の事業規模等が把握できない。また、市長の市政運営に臨む基本的な姿勢も断片的であり、現時点では十分な審議ができたとは言い難い。本予算編成に当たっては、下記の事項について十分留意され、住民福祉の増進が図られるよう要請する。

記

- 1 新規施策の導入及び施策の統合・廃止については、施策決定の過程（プロセス）を極力公開するとともに、議会が施策の判定をする上で必要な関係情報の提出や意見提供などに努め、透明性の確保及び説明責任を果たされたい。
- 2 施策の見直し等に当たっては、単に財政上の評価だけでなく、導入に至った経緯、総合振興計画との整合性、旧市町の地域性、合併時の要件等慎重に検討されたい。
- 3 住民福祉の維持向上を図るため、現行の行政サービス水準の低下や市政の後退をさせないことを原則に、施策の選択を行うとともに時代の福祉ニーズに的確に対応されたい。

以上、決議する。